

外国人困窮者支援のいま
—北関東医療相談会月間レポート：2023年4月版—

■支援日誌

□4月1日「イラン難民アフシンさんの緊急手術支援」

皆様へ

アフシンさんの公式御礼文が公表されたのでお知らせします。

ご報告が大変遅れましたが、イラン難民申請者のアフシンさんは、皆様の温かいご支援で、3月8日に無事に心臓手術を行うことができ、現在、術後の経過を見ながら、通院治療を続けております。しばらくは、追加手術の必要性の検討もしながら、健康回復のための通院生活が続きます。

4回目の難民申請の結果待ち状態も続いていますが、改めて、朗報を皆様方と共有できる日が一日も早く訪れることを願っております。

先日、「アフシンさんのハートを支える会」の呼びかけ人で、この間のご報告とお礼、手術後のアフシンさんのメッセージを発出しましたので、投稿させていただきます。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

以下、「アフシンさんのハートを支える会」呼びかけ人と、アフシンさん自身からの皆様方へのご報告とお礼のメッセージです。

イラン難民申請者アフシンさんを支えて下さる皆様方へ

春の日差しが心地よい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

皆様にご支援の呼びかけをさせていただいたアフシンさんの心臓手術は、さる3月8日に無事に終わりました。アフシンさんからの手術のご報告と皆様へのメッセージを以下にお送りします。

今回の手術・入院費用は1,663,212円でした。これまで

「アフシンさんのハートを支える会」の募金活動に、

ご理解とご支援を頂きましたみなさまに、心から感謝申し上げます。

カテーテル、アブレーション治療は、何回か同様の治療が必要になることがあります。

これからも体調管理に気をつけながら、アフシンさんの通院生活が続きます。

一日も早く、アフシンさんが在留資格を得て、心身ともに安心して生活できるように、私たち「支える会」は、今後もアフシンさんと共に歩んでいきます。

これからも皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

3月22日「アフシンさんのハートを支える会」呼びかけ人一同

<https://afshinsheartsupport.hatenadiary.com>

以下、アフシンさんからのメッセージです。

++++

私の手術費の募金を呼びかけてくださり、261団体・個人様から4,561,300円のご寄付が集まりました。おかげ様で3月8日、「心房細動・慢性心不全」の手術を受けることができました。

4時間にわたる手術でしたが、無事に終わりました。私はイランで反政府活動をして何度も殺されかけて日本に逃げてきました。現在、4度目の難民認定申請中ですが、難民として認めてもらえず、働くことも、国民健康保険に入ることもできない「仮放免」（入管収容施設の外での生活）の立場です。

心臓病で苦しくて、日常生活もできないままの6年間でした。体全体に不自然さを感じ、体はむくんでいて、最後は夜眠ることも、歩くこともできませんでした。手術を受けることは一生できないと思い、一切の希望を抱けない時もありました。

でも不可能なことを、皆様は可能にしてくれました。皆様からのご寄付は、皆様がすごい苦勞をして、毎日仕事をしながら手に入れたものだという事は私にも分かります。今回、皆様の大切なお金を寄付してくださり、私にもう1回、普通の生活ができるチャンスをくださいました。心からの感謝を込めて「ありがとうございました」と言いたいです。

今は、私と同じような立場で、同じ病気になって弱気になっている人にも、「不可能はない。可能性がある限り信じ続けよう」と伝えたいです。

ご寄付の残りは、私と同じ立場にある「仮放免」の難民認定申請者に使っていただきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

https://www.facebook.com/permalink.php?story_fbid=pfbid0E73MnfDYivZzofcCAH9D7rtLeKjJ2Fg6svZTvyHrRe6AuGGfAahFakBfFSjBXLfML&id=100087361227250



AFSHINSHEARTSUPPORT.HATENADIARY.COM

イラン難民アフシンさんの緊急手術支援（寄付金）のお願い -
afshinsheartsupport's diary

□4月10日「心の時代・私のガリラヤを生きる」

皆様へ

昨年好評をいただきました「心の時代・私のガリラヤを生きる」の再放送が決まりました。次週4月16日（日）EテレAM5時、4月22日（土）午後1時。拡散をお願いします。

[心の時代・私のガリラヤを生きる](#)



□4月14日「イエスは今も生きている」

先週は、日本人ホームレスの救援、昨日はネパール人仮放免者のホームレス支援でした。予定は午後7時から国会前のシットインに参加予定でした。本人はうつ病者でしたので準備したシェルター部屋が合わず再度部屋を探して落ち着いたら8時30分を廻っていたので国会前に行かず帰宅しました。

久々に早く寝て、3時に起きての作業開始です。とりあえずわかっている人には新しいニュースレターを送りました。近日中にホームページに掲載します。

今年一番の大物支援は親子で仮滞在6ヶ月を取得したことです。

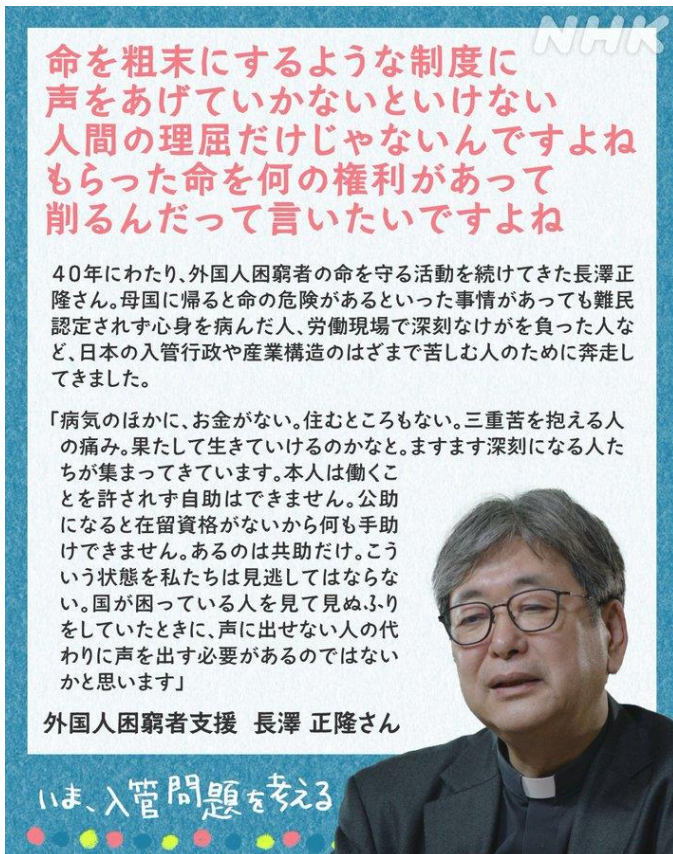
子供は難病でした。弁護士さんには御礼を言いたいです。それとアフシンさんの手術ですね。本人も至って元気で、今思えばもっと広く病院の情報を知らせておけばよかったと思いました。

イエスの時代を社会学しようとしている先生方が多いことに気が付きました。社会的周縁者に対してイエスは社会的包摂を強烈な個性で導いたと思います。イエスは今も生きている。

□4月14日「NHK ハートネット #いま入管問題を考える」

皆さまへ

とうとう私の番になりました。



**命を粗末にするような制度に
声をあげていかないといけない
人間の理屈だけじゃないんですよ
もらった命を何の権利があって
削るんだって言いたいですよね**

40年にわたり、外国人困窮者の命を守る活動を続けてきた長澤正隆さん。母国に帰ると命の危険があるといった事情があっても難民認定されず心身を病んだ人、労働現場で深刻なけがを負った人など、日本の入管行政や産業構造のはざまに苦しむ人のために奔走してきました。

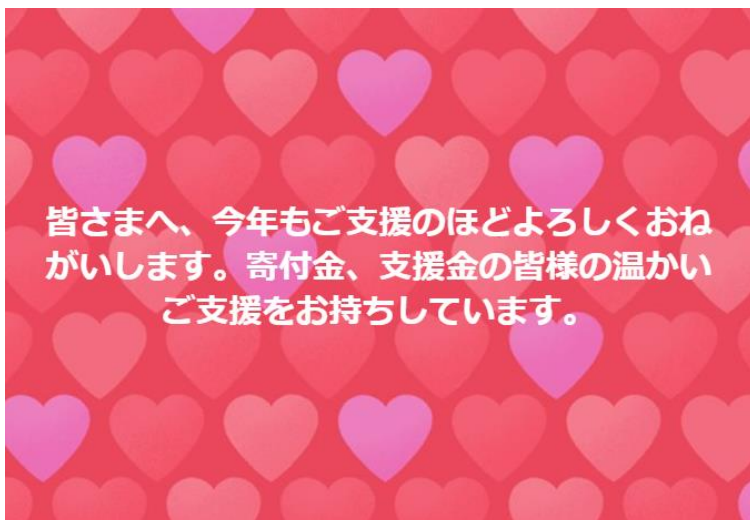
「病気のほかに、お金がない。住むところもない。三重苦を抱える人の痛み。果たして生きていけるのかなど。ますます深刻になる人たちが集まってきています。本人は働くことを許されず自助はできません。公助になると在留資格がないから何も手助けできません。あるのは共助だけ。こういう状態を私たちは見逃してはならない。国が困っている人を見て見ぬふりをしていたときに、声に出せない人の代わりに声を出す必要があるのではないかと思います」

外国人困窮者支援 長澤 正隆さん

いま、入管問題を考える

[NHK ハートネット 「#いま入管問題を考える」](#)

□4月18日「ご寄付のお願い」



皆さまへ、今年もご支援のほどよろしくおねがいします。寄付金、支援金の皆様の温かいご支援をお持ちしています。

□4月18日「コンゴ人の支援」

皆さま 支援の要請は拡大しています。

神奈川反貧困ネットでは11人家族のコンゴ人の支援に入りました。家賃、医療費等で苦勞しています。今般、治療費が100万円の治療費は中々できません。とりあえず反貧困の口座をお知らせするところから始めますのでご支援を賜りたく思います。

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：019 店名：〇一九 店（ゼロイチキューウ店）

預金種目：当座

口座番号：0594755

受取人名：ハンヒンコンネットワーク

よろしく願います。

□4月18日「在留特別許可」

兄弟の皆さまへ

アフシンさんの件で在特申請をしていましたが一部不服ながら在留特別許可が認められました。

おめでとうございます。

就労が認められない以外は許可がおりたので良かったと思います。よかったですね。

これも兄弟の皆様とお祈りしながら進めた結果だと思えます。

ご支援をいただいた方皆様に感謝いたします。

ありがとうございました。

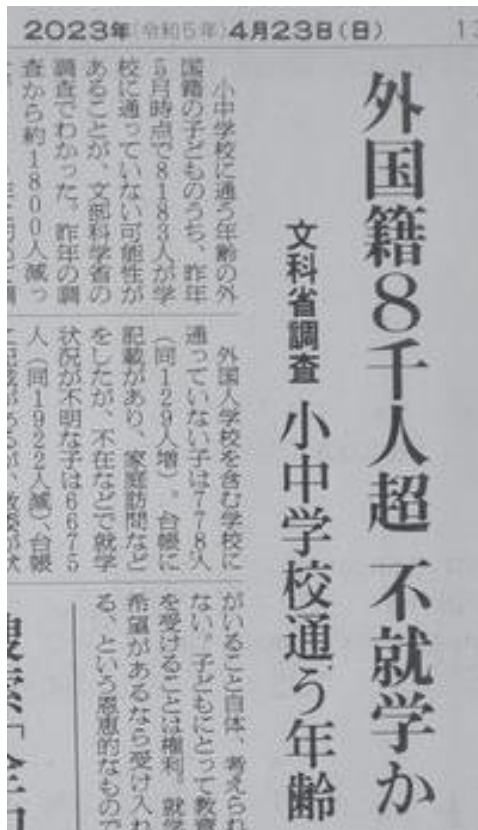
今後も、アフシンさんだけでなく他の兄弟の皆のためにもお祈りにご支援をいただきたく存じます。

よろしく願います。

□4月23日「外国籍の不就学児」

4月23日（日）朝日新聞の記事です。外国籍の不就学児のことが掛かれています。私たちも仮放免者の家庭を訪れるとお子さんがいます。小学校1年～高校まで皆どうしているのかと思えます。

先日、高校の子供の学費について教育委員会に尋ねると支援は無い、小学校もK市はしていません。しかし文科省に聞くと小学校は支援しているとして文科省から直接指導してもらいました。地方にいくとできないというばかりで困ります。埼玉県のK市の教育委員会の方そんなことありませんよ。



□4月27日「流星プリウス2号」

皆さまへ

私の愛車流星プリウス2号は2023年4月7日午前1時18分に270,000Km走行距離に達しました。1代目も確か18万Kmで新車にしました。合計すると45万Kmです。1代目の前マークIIは20万Km目前で走り方がおかしいと思って替えました。とにかく3代合計すると65万kmになるということです。地球1周は4万Km、地球と月の距離は38万Kmとなると言います。大した事故もなくこれたのもトヨタ自動車のおかげなのかとおもいました。なんの不満も無い愛車ですのでこのまま廃車になるまで乗り続けたいと思います。私も頑張りました。トヨタの車も頑張りました。外国人のおうちに走り続けてきたのです。



注)「支援日誌」は長澤正隆 Face book を基に修正加筆を行った。

■支援状況

□個別支援（アウトリーチ支援）

- ・アミーゴスのメンバーで個別支援。
- ・生活、医療、住宅、入管関係支援を行う

□食料・生活必需品等の配布

- ・食料（米、おかず、野菜、調味料など）や生活用品（オムツなど） **128 件**
- ・衛生用品（マスク、石鹸、アルコール消毒液）※偶数月に2か月分送付 **317 件**

□住居支援

- ①群馬県高崎市に「めぐみアパート」3部屋借り上げ。
仮放免のフィリピン人2人、イラン人1人が入居中。
- ②埼玉県杉戸町に「すぎとの家」1軒借り上げ。
アフリカ出身の家族が入居中。

編集：大澤優真